

■源氏物語講座

「紫上の法華經千部供養と明石中宮の病氣見舞い -御法巻-」

日 時:11月29日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会 場:研修室1・2

「紫上の死と光源氏の悲しみの日々 -御法巻-」

日 時:3月21日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会 場:研修室1・2

■歴史講座

大洲出身の蘭学者 武田斐三郎の人と業績

日 時:12月21日(日)
講 師:白石 尚寛氏(大洲市立博物館)
会 場:研修室1・2

正保国絵図と元禄国絵図の差異 -伊予国絵図宇和郡の描写を中心に-

日 時:3月29日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
会 場:研修室1・2

■古文書講座

初心者向けの古文書講座①

庄屋から代官へ出す願書届書の模範文例

日 時:3月1日(日)
講 師:柚山 俊夫氏(伊予史談会会長)
会 場:研修室1・2

初心者向けの古文書講座② 明治前期における行政区画

日 時:3月14日(土)
講 師:柚山 俊夫氏(伊予史談会会長)
会 場:研修室1・2

受講時のお願い▶講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。
申込方法▶当館HPの講座申込フォーム・お電話からお申し込みください。
お問い合わせ▶企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

■考古講座

経塚って何だろう?特別展を楽しむための経塚入門

日 時:2月21日(土)
講 師:三浦 彩(当館学芸員)
会 場:研修室1・2

シンポジウム「伊予と四国の経塚を考える」

日 時:2月23日(月・祝)
講 師:時枝 務氏(立正大学文学部教授)
岡本 桂典氏(高知県文化財保護審議会会長)
岡田 敏彦氏(愛媛考古学協会会長)
会 場:多目的ホール

西条市宮之内遺跡出土金銅製舎利容器をめぐって

日 時:3月15日(日)
講 師:松葉 竜司氏((公財)愛媛県埋蔵文化財センター)
会 場:多目的ホール

■民俗講座

愛媛の食文化、味の原点を考える

日 時:12月6日(土)
講 師:垣原 登志子氏(愛媛大学客員教授)
会 場:研修室1・2

幕末の探検家 松浦武四郎と四国遍路

日 時:12月13日(土)
講 師:岡本 佑弥氏(徳島市立徳島城博物館学芸員)
会 場:多目的ホール

■体験講座

江戸時代の住宅探訪

日 時:12月7日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
会 場:西条市氷見、四国中央市切山
参加費:7,000円程度(予定)
【締切】11月7日(金)

建築のミカタ ~松山市久谷地区の建造物を巡る~

日 時:3月8日(日)
講 師:佐藤大規研究室(愛媛大学社会共創学部)
会 場:松山市久谷地区
参加費:6,000円程度(予定)
【締切】2月10日(火)



歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News



特別展 ヨシタケシンスケ展かもしれない

2025年9月20日(土) → 11月24日(月・休)

愛媛県歴史文化博物館

展示スケジュール 2025.10-2026.3

Table with exhibition schedule from 2025.10 to 2026.3. Includes special exhibitions like 'ヨシタケシンスケ展かもしれない' and '伊予の経塚名品展'.

ご利用案内

Table with museum information: 開館時間 (9:00~17:30), 休館日 (月曜日), 観覧料 (大人580円, 小中学生無料, 65歳以上300円, 観覧無料).

Museum Calendar 2025.10-12. Table showing dates and events for October, November, and December.

Museum logo and contact information: 愛媛県歴史文化博物館, MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE, TEL: 0894-62-6222.

主催=「ヨシタケシンスケ展かもしれない」愛媛実行委員会(愛媛県歴史文化博物館、愛媛朝日テレビ)、朝日新聞社、白泉社
協力=アリス館、KADOKAWA、集英社、PHP研究所、ブロンズ新社、ポプラ社
後援=愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛CATV、ケーブルネットワーク西瀬戸、八西CATV、西予CATV、宇和島ケーブルテレビ、FM愛媛、FMがいのや
協賛=伊予銀行、愛媛銀行、マルトモ in 愛媛
グラフィックデザイン:大島依提亜/会場構成:五十嵐瑠衣

民俗

愛媛県内最古の遍路道標石(複製)



民俗展示室 現地風景

民俗展示室(四国遍路)には愛媛県内の遍路道標石の実物(原資料)と複製あわせて6基を展示していますが、今回はそれらの中から、四国遍路の歴史を考える上で重要な道標石(複製資料)を紹介します。この道標石は四国霊場第47番八坂寺(松山市浄瑠璃町)の近くにある土用部池(同市恵原町)の堤防下に建てられ、遍路道(西林寺道)沿いに現存します。安山岩の自然石で作られ、正面には「(手印) 右遍路道/貞享二乙丑 三月吉日 法房」と刻まれています。

上部の手印は立体的な浮彫りでなく、素朴な線刻で手のひらが描かれ、右方向を指しています。「右遍路道」とは「遍路道は右です」の意味です。「貞享二乙丑 三月吉日」は道標石の建立年月と考えられ、貞享2年(1685)の干支は乙丑で一致します。「法房」については設置者と推察されますが、詳細は不明です。

注目したいのは、貞享2(1685)年3月の紀年銘です。現存する紀年銘入りの遍路道標石では愛媛県内最古のものとなります。また、高知県室戸市にある同年2月建立の四国最古の遍路道標石(女人結界石)に次いで2番目に古いものになります。さらに興味深い点として、明確に「遍路道」の刻字があります。このことは当時「へんろ道」という呼称があり、遍路が通行するための指定された道があったこと、そして、道標の設置が必要となるほどの遍路の往来があったことを示唆しています。

愛媛県内最古の遍路道標石は、遍路道に残された四国遍路の歴史を伝える貴重な資料です。民俗展示室でその複製を観覧いただき、是非とも現地で実物と対面して、四国遍路の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(専門学芸員 今村 賢司)

年代:原資料は貞享2年(1685)
法量:原資料は高さ約110cm×最大幅約54cm
所蔵:当館蔵(複製)

考古

土人形(蛙)

土人形は、江戸時代に流行したやきもの製の小さな人形です。型作りか手捻りで、神仏、人物、動物などが作られました。子どものおもちゃや、神棚や祭壇に置く置物として利用されたものです。中でも18世紀後半から19世紀前半は、人形の種類が増加した時期とされています。松山城県民館跡地からは、動物だけでも犬、猿、熊、鳩、鶏、亀、鯛、兎、蛙など多くの種類が出土しています。

土人形は当時の信仰や習俗、招福物の姿を形にしたもので、何かしらの意味があったとされています。例えば、狐はお稲荷さん。犬は安産祈願や子どもの守り神。猿は、庚申信仰や「難がサル」との語呂合わせなどです。では、蛙にはどのような意味があったのでしょうか。

蛙と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、蛙とカエル(帰る・返る)の語呂合わせではないでしょうか。この語呂合わせは、古くは平安時代からあり、江戸時代にも、蛙と「でんぐり返る」や「ひっくり返る」をかけた駄洒落が小説や俳句に登場しています。

もうひとつ考えられるのは、水との関係です。この資料を見てみると、体つきや色から、様々な種類の蛙の中でも、アマガエルなど小型で緑色の蛙を表現しているのではないかと思います。アマガエルは雨蛙と表記されることもあり、蛙が鳴くと雨が降るといったように、雨と結びつけられる蛙です。この土人形にも、雨乞い、または水と関わる何らかの意味が見出されていたのかもしれませんが。

(学芸員 三浦 彩)

出土地:国史跡 松山城県民館跡地
年代:江戸時代(18世紀後半~19世紀初頭)
サイズ:(左)高さ1.6cm、(右)高さ1.7cm
所蔵:愛媛県教育委員会



特別展

四国初開催!

ヨシタケシンスケ展かもしれない

2025年9月20日(土) → 11月24日(月)

会場:企画展示室、文書展示室、考古展示室

休館日:9/22(月)、29(月)、10/7(火)、14(火)、20(月)、27(月)
11/4(火)、10(月)、17(月)

絵本の世界を
体感できる
仕掛けが盛りだくさん

出品点数
400点以上!

世田谷文学館での展示のようす
撮影:黒澤義教

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』(2013年)以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけています。

ヨシタケさんは絵本を出版する以前から、イラストレーター、造形作家として活躍してきました。初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。発想の豊かさに支えられたヨシタケさんの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。

展示室内は写真撮影OKです!

(一部映像作品をのぞく)

※動画・フラッシュ撮影、自撮り棒・三脚のご使用、他のお客様のご迷惑となる撮影はご遠慮ください。



区分	前売・団体料金	当日料金
一般	1,200円	1,400円
65歳以上	1,000円	1,200円
高校・大学生	900円	1,100円
小学・中学生	500円	700円

※詳しい情報はHPへ

特設ショップOPEN!

かわいい
展覧会オリジナルグッズ

※商品ラインナップ、価格、デザイン、仕様は変更になる場合がございます。



「アイツ」のぬいぐるみ
Sサイズ 2,530円(税込)

ちっちゃくアビールプレート
各880円(税込)

ソフビ
「ちいさな神さま」
3,960円(税込)

見せようと思った
プリント入れ
A4クリアファイル
500円(税込)

愛媛会場限定グッズ登場!!

ヨシタケさん描き下ろしのアイツがあしらわれた手のひらサイズのミニダンボール箱が登場します。どんな風に使用するかは、あなた次第…。温州みかんが2個ほど入ります。

※みかんはついてきません。

みかん箱かもしれない
サイズ:W10cm×D7.2cm×H5.4cm
550円(税込)



開館記念日イベントのご案内

11月30日(日)に開催いたします。

11月30日は常設展が無料でご利用いただけます。

今年も、昨年に続き「どんぐりマルシェ」を開催いたします。

皆さんぜひ歴史へお越しください。



友の会のお知らせ

10月1日より友の会に入会いただく場合は会費が半額になります。18歳以上の個人会員なら3000円→1500円です。会員の資格は、会費を納入した日から、その年度の3月31日までです。

友の会特典「入館料の減免」について(一部変更)

今年の9月より「入館料が無料」から「入館料が無料もしくは割引」に変更になります。

詳しくは歴史までお問い合わせください。

お問い合わせ:友の会事務局 TEL 0894-62-6222